

機械器具 16 体温計

管理医療機器 耳赤外線体温計 (JMDN コード：17887000)

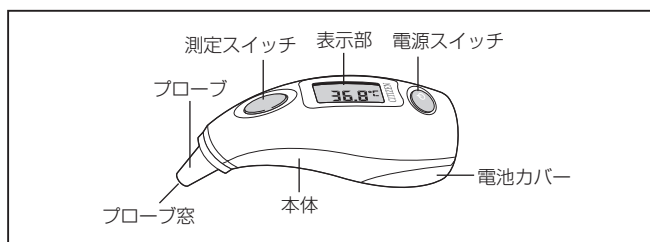
シチズン 耳式体温計 CTD505

【警告】

- 電池はお子様の手の届くところに置かないでください。[誤飲のおそれがあります。]
- お子様だけで使わせしないでください。[ケガをする可能性があります。]
- 外耳炎、中耳炎など耳に症病があるときは使用しないでください。[感染や症状を悪化させる可能性があります。]

【形状・構造及び原理等】

1. 各部のなまえ



付属品：収納ケース、モニター用電池（内蔵）、取扱説明書（保証書付）、医療機器添付文書、EMC 技術資料

2. 体に接触する部分の原材料

- プローブ / 本体 : ABS 樹脂

3. 本体の寸法および重量

- 本体：約 39（幅）× 120（高さ）× 52（奥行）mm
- 質量：約 68g（電池含む）

4. 電気的定格

- 電源：DC3V（CR2032 × 1 個）

* 分類：内部電源機器・BF 形装着部・IP22

5. 原理

本製品は、人の体温を測定するための装置であり、プローブ、本体、スイッチ、表示部からなり、プローブを耳内に挿入すると、耳内の赤外線を受光センサーが検知し、その赤外線量を LSI により演算処理して、体温を表示します。

【使用目的又は効果】

本製品は、人の鼓膜およびその周辺の赤外線を受光することによって当該部位の温度を測定することにより体温を測定し、デジタル表示する装置です。

【使用方法等】

<測定前準備>

- プローブ窓が汚れている場合は、市販の綿棒でプローブ窓を乾拭きしてください。乾拭きで汚れが落ちない場合は、綿棒に消毒用アルコールを浸み込ませてから拭き取り、良く水気を拭き取ってから約 5 分後にご使用ください。
- 耳垢などの汚れがある場合は、耳の掃除をしてください。
- 室温になじませてからご使用ください。

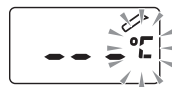
<測定方法>

- * (1) 電源スイッチを押すと、全点灯表示となり、前回の測定値を約 3 秒間表示します。初めてお使いになるときやメモリー消去後は  を表示します。（電源スイッチを押した直後、バックライトが約 4 秒間点灯します。）

前回の測定値

36.8°C

- (2) 続いて「ビッ」とブザーが鳴り、測定準備完了マーク  が点灯し℃マークが点滅したら測定可能です。



- (3) 一般的に耳の穴（外耳道）は図 1 のように曲がりくねっています。図 2 のように耳を持ち、斜め後ろに、又は後ろに軽く引くと耳の穴はまっすぐになります。正確に測定するためには、耳の穴をまっすぐにして図 3 のようにプローブの先端を鼓膜にまっすぐ向けることが大切です。



【上側から見た図】

図 1 通常の耳の穴の状態（曲がりくねっている）



【上側から見た図】

図 2 耳を引いて耳の穴をまっすぐにする

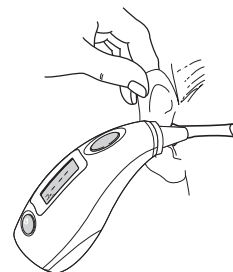


図 3 プローブの先端を鼓膜にまっすぐ向ける

- プローブが鼓膜の方向に向くように、ゆっくりやさしく入れます。耳の穴が小さいときは、入り口をぴったりふさぐようにしてプローブを鼓膜の方向に向けてください。
- 頭を動かさないようにして、測定スイッチを押します。
- 測定時間は約 1 秒です。「ピー」とブザーが鳴ったら検温終了です。プローブを耳から抜いて、測定結果を確認します。
※ 検温終了時にバックライトが約 5 秒間点灯します。
※ 37.5℃以上の時は赤色のバックライトが点滅し、「ピピッ、ピピッ」とブザーが鳴ります。
- 検温が終わりましたら電源スイッチを押して電源を切ります。
※ 電源スイッチを押さなくても、約 1 分後、自動的に電源が切れます。
- 使用後は、ティッシュ又はウェットティッシュで本体、プローブ、プローブ窓の汚れを拭き取り、乾いた布で水気を拭き取ってから収納ケースに入れて保管してください。

取扱説明書を必ずご参照ください

＜測定結果（メモリー）の呼び出し＞

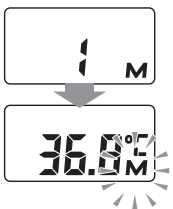
本製品は自動記憶した 12 回分の測定結果（メモリー）を呼び出して確認することができます。

- (1) 電源が切れている状態を確認し、測定スイッチを 1 回押すとメモリーマーク“M”が点滅します。

押す



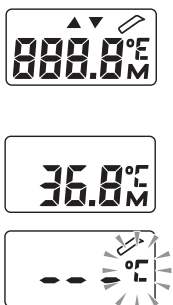
- (2) もう一度、測定スイッチを押すとメモリー番号 1 が表示された後、前回の測定結果が表示されます。続けて測定スイッチを押すと、メモリー番号 2 が表示された後、前々回の測定結果が表示され、測定スイッチを押すたびに、過去の測定結果にさかのぼります。過去 12 番目のメモリー表示後は、1 番目のメモリーを表示します。



＜メモリー消去のしかた＞

※個別のメモリーは消去できません。

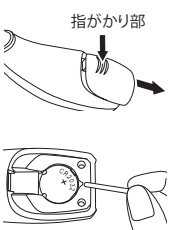
- (1) 電源が切れている状態を確認し、測定スイッチを押したまま電源スイッチを押して離すと全点灯表示します。
- (2) 前回の測定結果が表示されたら、すぐに測定スイッチを離します。
- (3) 2 秒後に「ピッ」とブザーが鳴り、℃マークが点滅すると全てのメモリーが消去されます。



＜電池交換＞

電池消耗マーク“”が点滅または点灯したら、電池を交換してください。

- (1) 電池カバーの上側の指がかり部分を押しながら、下方向へスライドさせて電池力バーを外します。
- (2) 電池収納部のすき間に細い棒（金属以外）を差し込み、電池を取り外します。
- (3) 電池の（+）側を上にして新しい電池（CR2032）をセットし、電池力バーを閉じます。



【使用上の注意】

- (1) 耳の内部形状は左右が同じとは限りません。そのため、人によっては左耳と右耳で測定結果に若干差が出る場合があります。体温を測るときは、できるだけいつも同じ耳で検温してください。
- (2) 耳の穴の奥に毛が生えている人は、実際よりも低く測定される場合があります。
- (3) 運動、入浴、食事のあとは体温が高くなっていますので、約 30 分間は検温を避けてください。
- (4) 体温は、時間帯、気温、睡眠などの状態により常に変動しています。また、個人差、性別、年齢によっても違います。日常的に体温を測定し、自分の平常時の検温値を知ることが大切です。
- (5) 耳で測った体温と脇の下で測った体温では測定する部位が異なるため、検温結果が違う場合があります。単純に比較せずに、一定条件のもとで定期的に測定し、平常時の検温結果と比較してください。
- (6) 耳内温度（鼓膜およびその周辺）の測定以外には使用しないでください。
- (7) お子様には、自分一人で測定させず、必ず、保護者が測定してください。けがの原因となります。

(8) プローブの窓に直接手を触れないでください。測定値の異常や故障の原因となります。

(9) プローブを耳に挿入する際は、鼓膜およびその周辺を痛めないよう十分に注意してください。また、プローブを強く耳に押しつけるとけがの原因となりますので、十分に注意してください。

(10) プローブを耳に挿入している間は、測定者の頭を動かさないよう十分に注意してください。

(11) 修理、改造、分解は絶対におこなわないでください。

(12) 超音波洗浄はしないでください。[故障の原因となります]

(13) 水中に放置したり、水道の蛇口に直接あてないでください。

(14) 曲げたり落としたり、強い衝撃を与えないでください。

(15) お子様が電池を飲み込まないように注意してください。

電池を飲み込んだ場合には、化学やけど、粘膜の貫通など、死にいたることがあり、直ちに取り出す必要があるため、直ぐに医師の指示に従ってください。

※ 添付文書および取扱説明書に従わない使用がなされた場合および勝手に何らかの修理、改造、分解、再調整がなされた場合について、製造販売元は一切の責任を負うことができませんのでご注意ください。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

高温や直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、ほこりの多い場所、腐食性ガスの発生する場所に保管しないでください。
長期間で使用にならない場合は、電池を取り出して保管してください。

2. 耐用期間

標準的な耐用期間の目安：5 年（自己認証による）

※電池などの消耗品は除く。

※標準的な耐用期間を越えて使用しないでください。

【保守・点検に係る事項】

- (1) しばらく使わなかったときは、使用前に清潔な状態にし、点検（電源が入るなど）した後、ご使用ください。
- (2) 汚れがひどい場合は、中性洗剤を浸み込ませた布で汚れを落とした後、洗剤をよくふき取ってください。シンナーやベンジン、アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩、クロルヘキシジングルコン酸塩、次亜塩素酸ナトリウムなどは絶対に使わないでください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：シチズン・システムズ株式会社
*製造元：HEALTH & LIFE CO., LTD.
台湾

お問い合わせ先
シチズン・システムズ株式会社 お客様相談室
〒188-8511 東京都西東京市田無町 6-1-12
電話：0120-88-6295